神戸大学大学院　医学研究科

# 第２回臨床メタボロミクス研究会

**グローバルCOEプログラム「次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点」**
**-基礎・臨床医学実質融合によるClinician-Scientistの育成-　主催**
**株式会社　島津製作所　共催**

## 平成22年11月30日（火）15：30～20：00
## 会場：神戸大学医学部 神緑会館 多目的ホール

生体を構成するタンパク質の働きによって、恒常性を保ちながら物質代謝が正常に行われ、生命は維持されている。様々な病気はタンパク質の機能が異常となり、正常な物質代謝が妨げられることから生じる。したがって、生体を構成するタンパク質（プロテオーム）と、生命を維持するために必要な代謝産物（メタボローム）の「正常」と「異常」状態を解析することが、病気の原因の本質を知ることに結びつき、新たな治療ターゲットの発見につながる可能性がある。また「異常」となった組織でみられるタンパク質・代謝産物は疾患の病態を反映する新たなバイオマーカーとなる可能性がある。しかし、ゲノム解析と比較して、タンパク質・代謝産物総体の解析、すなわちプロテオミクス・メタボロミクスは、それらを構成する成分が複雑多種であることと、増幅させることができないことから、病気に関連するわずかな変化を検出することが技術的に難しいという問題を抱えてきた。

近年の質量分析技術の進歩により臨床マテリアルを用いたプロテオーム・メタボロームの解析が進んでいる。本研究会では国内におけるプロテオミクス・メタボロミクスにおける第一線の研究者をお招きし、最先端の研究をご紹介頂く予定である。ポストゲノムの新しいオミックスであるプロテオミクス・メタボロミクスの可能性・発展性を実感して頂ければ幸いである。

## PROGRAM

**15:30～　開会の挨拶**
高井　義美
神戸大学大学院医学研究科長　医学部長

**15:35～　「当大学におけるメタボロミクス研究の現状」**
吉田　優
神戸大学大学院医学研究科質量分析総合センター
座長：竹縄　忠臣　（神戸大学　質量分析総合センター長）

**16:00～　「 1細胞ダイレクト・メタボロミクスの現状と課題」**
升島　努
広島大学大学院医歯薬学総合研究科
創生医科学専攻分子治療デバイス学研究室　教授
座長：　波多野　直哉　（神戸大学　G-COE研究員）

**17:00～　「グライコプロテオミクスの現状と糖鎖合成異常症の診断支援活動について」**
和田　芳直
大阪府立母子保健総合医療センター研究所長
日本質量分析学会会長
座長：戸田　達史　（神戸大学　教授）

**18:00～　「質量分析を用いたメタボロミクス解析による先天代謝異常の診断、病態評価」**
山口　清次
島根大学医学部医学科小児科学講座　教授
座長：篠原　正和　（神戸大学　G-COE研究員）

**19:00～　閉会の挨拶**
竹縄　忠臣
神戸大学大学院医学研究科質量分析総合センター長

講演会終了後、研究情報交換会（無料）を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

**お問い合わせ先**
神戸大学大学院　医学研究科
質量分析総合センター　吉田　優までお願いいたします。
ＴＥＬ：078-382-6305　E-mail: myoshida@med.kobe-u.ac.jp